経法商学科（共通科目）

【沖縄大学の理念と共通科目】　沖縄大学の基本理念である「地域共創・未来共創の大学へ」を実現するために、他者との対話と協働を通じてより良い社会を作っていく力（共創力）を身に付けるための基礎を養成します。
【共通科目の学習・教育目標】　複眼的・総合的思考を可能とする幅広い教養を身に付けるとともに、他者と対話しながら主体的に学ぶことのできる能力（汎用的能力・ジェネリックスキル）を修得します。
○幅広い教養･･･「沖縄関連」「総合」「人間・社会」「自然・環境」の科目群を通じて身に付けます。
多様性を理解・受容できる能力、ものごとを複眼的・総合的に考える能力を身に付け、共創力の基礎となることを目指します。
○汎用的能力･･･「健康関連」「言語関連」「情報処理関連」「キャリア形成・資格対策」「問題発見演習」の科目群を通じて身に付けます。
健康管理能力、日本語・外国語能力、情報活用能力等、どの分野を専攻する上でも必要となる汎用的能力（ジェネリックスキル）を養成することを目指します。

必修　選択必修

区分		学習・教育目標	1年次		2年次		3年次		4年次
共通科目	沖縄関連	地域の歴史・文化・民俗から芸能・文学まで、「沖縄」について幅広く学び、理解を深め、社会のキーパーソンとなるために必要な基礎を身に付け、「地域共創力」を身に付けるための知識と経験を養います。	沖縄の言語	沖縄の自然	沖縄の地理	沖縄の芸能論	沖縄の女性史	沖縄の芸術	
			近代沖縄文学	現代沖縄文学	現代沖縄学入門	沖縄と移民	沖縄戦と記憶の継承(入門)	沖縄戦と記憶の継承(フィールドワーク)	
			沖縄の文化Ⅰ・Ⅱ	沖縄の民俗Ⅰ・Ⅱ					
	総合	１つのテーマ（戦後の日本と沖縄、現代の世界、ジェンダー学、ユニバーサル社会入門など）を異なる複数の分野・視点から考察するという複眼的・社会的思考の重要性を学びます。	戦後の世界	沖縄大学論	ユニバーサル社会入門	ジェンダーから見る社会	現代社会のしくみ	ジャーナリズム論	
			現代の世界	戦後の日本と沖縄	ｿｰｼｬﾙｲﾝｸﾙｰｼﾞｮﾝ入門	ジェンダー学	地域活性化システム論	社会福祉とジェンダー	
	人間・社会	人間及び社会について、幅広く学びます。	現代社会と哲学	言語学入門	心理学入門	現代社会の教育	平和と人権	倫理学入門	
			文学入門	政治学入門	青年期のこころの発達	現代社会論	歴史のみかた	メディア文化論	
			法学入門	社会人類学入門	文化人類学入門	文化社会学	日本国憲法 ※教職履修者のみ		
	自然・環境	自然及び環境について、幅広く学びます。	生活の中の数学	統計学	自然科学概論	人類の進化と適応	環境と社会	環境概論	
			教養数学Ⅰ・Ⅱ	統計解析入門	地球の科学と災害	生物保全Ⅰ・Ⅱ	環境マネジメント演習	地域環境計画	
	健康関連	健康的なライフスタイルの構築を目指し、生活習慣と健康に関する理解を深めるともに、身体活動や運動など、健康行動の実践を通じて自己の健康を管理する技能を身に付けます。	健康運動演習a	健康運動演習b					
				健康運動演習 c					
	言語関連	日本語能力は、明快かつ円滑なコミュニケーションを日本語で行う能力に焦点を当て、大学レベルの講義を受講するために欠くことのできない語学力を身に付けます。 外国語能力は、英語または中国語を通して日本語を母語としない人々と簡単な意思疎通ができるようになることを目指します。	日本語のシステムⅠ	日本語のシステムⅡ					
			日本語ライティングⅠ	日本語ライティングⅡ	スペイン語Ⅰ・Ⅱ	フランス語入門	ベトナム語入門		
			Oral English Ⅰ	Oral English Ⅱ	韓国語Ⅰ・Ⅱ	手話講座入門			
			Basic English Ⅰ	Basic English Ⅱ	日本語ⅠA	日本語ⅡA	日本語Ⅲ	日本語表現法Ⅰ	
			オーラル中国語Ⅰ	オーラル中国語Ⅱ	日本語ⅠB	日本語ⅡB	日本語Ⅳ	日本語表現法Ⅱ	
			ベーシック中国語Ⅰ	ベーシック中国語Ⅱ	※日本語を母語としない学生の場合				
	情報処理関連	IT社会に必要な情報活用能力や知識を身に付けます。	情報リテラシーⅠ	情報リテラシーⅡ	情報倫理	情報システム概論	ロボットプログラミング演習	プレゼンテーション演習	
	キャリア形成・資格対策	キャリアアップに役立つ各種技能試験の対策講座やキャリア支援・就職支援のための科目を通して、自身の将来に活かすための方法を学びます。	キャリアデザイン入門			キャリア開発論	キャリア選択論		
			TOEIC(Reading)	TOEIC(Listening)	英検対策Ⅰ・Ⅱ				
			ワープロ資格試験対策講座	表計算資格試験対策講座	プレゼンテーション資格試験対策講座				
	問題発見	4年間の学びの入り口として、異なる背景を持つ他者と交流できる力（ソーシャルスキル）、大学で主体的に学ぶ力（スタディスキル）、自身の生活・人生を設計する力（ライフデザインスキル）の３つの基礎力を向上させます。	問題発見演習Ⅰ	問題発見演習Ⅱ → 2年次の基礎演習へとつなげます。					

履修系統図

経法商学科（専門科目）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）
経法商学科では、124単位の修得と必修等の条件を充たした上で、以下のような能力・資質を涵養し、それらを総合的に活用できる学生に学位を授与するものとします。
（1）幅広い教養と複眼的・総合的思考力
人間・社会および沖縄地域などについて理解を深め、幅広い教養を修得し、複眼的・総合的な思考をすることができます。
（2）主体的な学習力と他者との協働力
大学において身につけた知識、思考力、資格を活かし、長期的な視点でキャリア形成を目指すことができます。
また、さまざまな現場の課題に対し、多様な人々と協力しながら、主体的に問題解決に取り組み、行動し、実践的に活躍できます。
（3）地域共創力
沖縄の自然・環境・歴史・文化等の特性を理解し、地域の課題を国際的な文脈でとらえ、新たな可能性に挑戦できます。
（4）専門的知識・技能の活用力
法律・経済・経営の視点に立脚し、社会教養に裏付けられた思考・分析ができます。

学習・教育目標

現場重視の総合教育を行い、世界や地域で生じている様々な問題を自ら発見し、理論的に考え、解決の方策を見出す力を身に付けます。
また独自の歴史・文化等を持つ沖縄の地域特性を活かし、持続可能で魅力ある生活環境づくりについても考察し、地域社会に貢献しうる人材の育成を目指します。

必修
選択必修

区分		学習・教育目標
専門科目	演習	問題解決能力、応用力を身に付けます。
	基幹科目	それぞれの専門領域を横断する総合的な問題解決力を身に付けるため、法律・経済・経営の基礎知識を横断的に学びます。
	専門科目及び自由選択科目（コースによって異なる）	自身の関心や将来希望している進路に応じて効果的に学習ができるように、2年次以降は3コースに分かれます。

1年次	2年次	3年次	4年次
共通科目の問題発見演習Ⅰ・Ⅱ	基礎演習Ⅰ — 基礎演習Ⅱ	専門演習a — 専門演習b	専門演習c — 専門演習d
			卒業論文・制作

※色枠の科目は当該色のコースでも履修を推奨。緑はすべてのコースで推奨。

基幹科目

- 法学概論
- 憲法・人権論
- 学問と社会
- 経済学入門Ⅰ — 経済学入門Ⅱ — 社会科学のための数学入門
- 経営学入門Ⅰ — 経営学入門Ⅱ — 初級簿記Ⅰ・Ⅱ
- 民法入門 — 民法総則
- 沖縄経済・企業論入門

法律行政コース

法を社会のシステムの一つとして認識しつつ、法の根本に関する理解、法の機能、利害調整の法的仕組み、法の解釈のあり方等について幅広く学びます。加えて、これらが実践される場である行政における法制度と運営の仕組みに関する理論と実際を学びます。法理論に基づいた問題発見能力、問題解決能力を養うことで、地域に貢献する人材を育成します。

- 憲法・統治機構論
- 自治体学Ⅰ・Ⅱ — 地方自治論 — 地方自治法
- 行政学
- 公共政策論
- 物権法 — 担保物権法
- 家族法
- 社会保障法Ⅰ・Ⅱ
- 債権各論 — 租税法
- 債権総論 — 知的財産法
- 行政法Ⅰ・Ⅱ
- 労働関係法Ⅰ・Ⅱ
- 刑法総論Ⅰ・Ⅱ
- 国際関係法Ⅰ・Ⅱ
- 紛争解決制度論Ⅰ・Ⅱ
- 刑法各論Ⅰ・Ⅱ
- 犯罪と非行Ⅰ・Ⅱ
- 会社法Ⅰ・Ⅱ — 商取引法Ⅰ・Ⅱ
- 刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ — 民事訴訟法Ⅰ・Ⅱ

経済経営コース

経済・経営システムの現状を学び、諸問題を掘り出し、その解決策を講ずる実践的学習を行っていきます。ICTの発展やアジアの中枢として注目される「今後の可能性」において、新たな産業・経済のあり方、企業力の向上などを研究・学習し、自らプレゼンテーションできるプロの人材を育成します。

- 経済学Ⅰ・Ⅱ
- 国際経済学Ⅰ・Ⅱ
- 経済政策Ⅰ・Ⅱ
- 計量経済学
- ミクロ経済学
- 公共経済学
- ファイナンス
- 労働経済学
- マクロ経済学
- ファイナンシャルプランニング
- 経済統計学
- 開発経済論
- 財政学
- 金融論
- 地方財政論Ⅰ・Ⅱ
- 沖縄経済論
- 経済英語
- 外書講読
- 地域経済学
- 環境と経済
- 経営戦略論
- 経営者論
- 日本経済史Ⅰ・Ⅱ
- 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ
- イノベーション論
- 中小企業論
- 社会的企業論Ⅰ・Ⅱ
- 環境と経済
- 経営管理論
- 組織行動論
- 経営組織論
- 人的資源管理論
- マーケティング論
- 流通システム論
- 消費者行動論
- ブランド論
- 会計学
- 財務諸表論Ⅰ・Ⅱ
- 中級簿記Ⅰ・Ⅱ
- 工業簿記Ⅰ・Ⅱ
- 情報システムⅠ・Ⅱ
- プログラミング
- 情報ネットワーク
- データベース

地域社会コース

法律・経済・経営の基礎を身につけつつ、より地域社会に比重をおき、沖縄の歴史や文化、経済、社会、政治に関する基本的な知識を学び、幅広い社会教養を学びます。地域社会を多角的・総合的に分析し、また、国際的視野をもって、地域の課題や問題解決に自ら取り組む人材を育成します。

- まちづくりⅠ・Ⅱ
- 日本経済史Ⅰ・Ⅱ
- 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ
- ビジネス・エシックスⅠ・Ⅱ
- 社会学 — 国際社会学 — メディア社会学 — 観光社会学
- 政治学原論Ⅰ・Ⅱ — 国際政治学Ⅰ・Ⅱ
- 東洋史Ⅰ・Ⅱ — スポーツ社会学
- 沖縄の歴史Ⅰ・Ⅱ — 沖縄近現代史論Ⅰ・Ⅱ — 沖縄近現代思想史Ⅰ・Ⅱ — 中琉交流史Ⅰ・Ⅱ
- 日本の歴史Ⅰ・Ⅱ
- 沖縄の文化と社会Ⅰ・Ⅱ
- 人文地理学Ⅰ・Ⅱ — 自然地理学Ⅰ・Ⅱ
- 地域環境生態学Ⅰ・Ⅱ — 地理学 — 地誌Ⅰ・Ⅱ
- 法史学Ⅰ・Ⅱ
- 地域と農業Ⅰ・Ⅱ
- 西洋史Ⅰ・Ⅱ

上記３コースの科目も含めた全ての専門科目から幅広く専門知識を学習します。

- 保険実務
- 法と経済